

2020(令和2)年度 事業計画

1. 学会活動・運営の基盤強化

公益社団法人に相応しい社会に貢献する学術法人として、理事会が中心となって、目的とする公益事業推進のための体制を構築し、維持し、改革を進める。

- (1) 寄附金の積極的受け入れと寄附金税額控除法人申請準備をする。
- (2) 若手研究者の拡充を図る。
- (3) 他事業団体との協働で学術研究・啓蒙活動・人材育成を推進する。
- (4) 事業・経費を見直して運営を効率化する。

2. 各種事業計画概要

(1) 会誌、学術刊行物の編集・発行

- ・ 会誌「ビタミン」の編集、審査等を厳正に行ない、年 11 回発行(1 月～12 月を 1 巻)する。
- ・ 公益社団法人日本栄養・食糧学会と共同編集して JNSV(英文誌)を年6回発行する。
- ・ 「ビタミン・バイオフィクター総合事典」発刊に向けて準備を進める。
- ・ 「サプリのルール」改訂版を監修する。

(2) 年次大会、学術講演会

① 2020 年度第 72 回大会

会 期:2020 年 6 月 19 日(金)～20 日(土)

会 場:ウインクあいち(愛知県産業労働センター)

大会委員長:吉村 徹(名古屋大学大学院生命農学研究科 教授)

テ ー マ:「Vitamin 100 年 ― 次の世紀へ ― 」

主要プログラム

一般演題発表 92 題

学会賞等受賞講演

《若手シンポジウム》

「ビタミン・バイオフィクター研究の新潮流」

《シンポジウム》

「ビタミン・バイオフィクター研究の企業展開」

第一部「ビタミン・バイオフィクター研究の企業展開」

第二部「大学発ベンチャーの展開」

《市民公開シンポジウム》

「飽食時代の隠れ栄養失調:健康寿命に影響するビタミン・ミネラル不足」

② 2020 年度市民公開講座

開 催 日:2020 年 11 月 14 日(土)

会 場:かがわ国際会議場

実行委員長:上田 夏生

テ ー マ:「人生 100 年時代のビタミン学」

講 演:「骨粗鬆症予防のためのビタミン」

徳島大学 教授 竹谷豊

「健康と若さを保つ脂溶性ビタミン」

お茶の水女子大学 教授 藤原葉子

「健康なからだ作りのための水溶性ビタミン-今、ビタミン C がおもしろい！」
近畿大学 特任教授 重岡成

(3) 地区部会活動

(近畿地区)

日本栄養・食糧学会近畿支部大会公開特別講演「ビタミンの健康機能」(共催)

開催日: 2020(令和2)年 11月14日(土)

会場: 大阪府立大学Uホール白鷺

講演者: 阿部皓一(武蔵野大学薬学部 SSCI 研究所, 三菱ケミカルフーズ株式会社)
石神昭人(東京都健康長寿医療センター研究所)

(4) 他事業団体との協働事業

- ・ 支部活動の活性化の一環として、他の学会・支部との共催により研究発表会を開催する。
- ・ 日本栄養学学術連合との連携

(5) 国際交流活動

第6回補酵素国際会議 International Conference on Cofactors (ICC-06)

会期: 2020年5月3日(日)～6日(水)

会場: Texas A&M Hotel and Conference Center

177 Joe Routt Boulevard, College Station, Texas 77840, USA

(6) 学術・広報活動

- ・ ビタミン等についての有用な情報をホームページに掲載する。
- ・ 各種事業の案内・募集等を、ホームページに掲載する。
- ・ ビタミン・バイオフィクターなどに関する質問に対し正確に対応する。

3. 研究の奨励及び研究業績の表彰

(1) 2020年度表彰授与式(2020年度総会時)

学会賞 2件、奨励賞 2件、企画・技術・活動賞 1件、功績者 4名

(2) 学生優秀発表賞

年次大会において、学生会員の一般演題発表者の中で優秀な発表を行った者に対して授与する。

(3) 若手海外優秀発表賞

国際学会等で優秀な発表をした若手研究者を顕彰する。対象は、2020年4月1日から2021年3月31日に開催された国際学会等である。

(4) トピックス貢献賞

学会誌 94巻において、会誌の充実及びビタミン学研究所の進歩・発展のため貢献度の高いトピックスを投稿した研究者に対し賞を授ける。

4. 助成事業

(1) 第6回補酵素国際会議参加補助(ICC-06)

以上